

医療安全通信 第67号-1

【薬局部医療安全委員会】

医療安全推進のため、Pharma Bridgeを通じて、医療安全上の周知すべき情報やタイムリーな話題を随時発信いたします。業務手順書の書換えや日常業務にお役立てください。

「アスベリン錠」と「アスペノンカプセル」との 販売名類似による処方誤りについて

PMDA（医薬品医療機器総合機構）より、「製薬企業からの医薬品の安全使用（取り違い等）に関するお知らせ」が紹介されています。

<https://www.pmda.go.jp/files/000231098.pdf>

アスベリン錠

（チペピジンヒベンズ酸塩）

： 鎮咳剤

アスペノンカプセル

（アプリンジン塩酸塩）

： 不整脈治療剤

「アスベリン錠」と「アスペノンカプセル」については、（公財）日本医療機能評価機構 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業によると、販売名類似による処方誤りのヒヤリ・ハット事例の報告が年1件程度ありましたが、2018年以降22件（2019年8月5日時点）と急増しています。

◆ 事例1

風邪薬の処方の中にアスペノンの処方があった。処方ミスの疑いを持ち、疑義照会をした結果、処方箋発行元の入力ミスであることが判明。正しい薬（アスベリン）に変更となった。

◆ 事例2

患者に新しくアスベリン錠10mgが出ていたが、患者から話を聞いてみると特に咳は出ていなく、不整脈がある事を確認。疑義照会したところアスベリン錠10mgではなくアスペノンカプセル10mgである事が発覚。医院の事務の入力ミスの可能性あり。

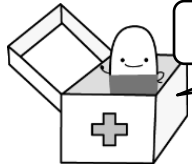
処方・調剤誤りは深刻な健康被害を引き起こすリスクがあります。「アスベリン錠」または「アスペノンカプセル」が初めて処方される場合や、継続使用で別の医療機関から処方された際には、現在の症状や病歴、薬歴等の確認をしっかりと行い、処方時の薬剤の選択ミスや調剤時の取り違いによる誤投与を未然に防止しましょう。

- 患者へのインタビューにより、どのような疾患で受診したか 確認する。
- 併用薬、病名などの情報を利用し、前回の処方歴 および 薬歴との照合 をする。

新しく配属になった職員をはじめ全職員に対して、「アスベリン」と「アスペノン」の両薬剤を間違えやすい医薬品として認知する機会（研修等）を設ける等、「調剤時の薬剤取り違い注意」および「薬剤選択ミスによる誤投薬防止」の啓発と周知を行ってください。

旭川薬剤師会公式サイトに医療安全通信のバックナンバー、掲載資料や参考資料も掲載しています。





医療安全通信 第67号-2


【薬局部医療安全委員会】

「アスベリン錠」と「アスペノンカプセル」の
販売名類似による処方誤りの注意のお願い

【一部抜粋】

下表を薬局内に掲示する等、活用してください。

全文は、<https://www.pmda.go.jp/files/000231098.pdf>をご確認ください。

販売名	アスベリン [®] 錠	アスペノン [®] カプセル
一般名	チベピジンセベンズ酸塩	アプリンジン塩酸塩
薬効分類名	鎮咳剤	不整脈治療剤
製剤 PTP	アスベリン錠10	アスペノンカプセル 10
シートの写真	 <p>アスベリン錠20</p> 	 <p>アスペノンカプセル 20</p> 
問い合わせ先	<p>ニプロ株式会社 医薬品情報室</p> <p>TEL:0120-226-898</p> <p>受付時間 9時 ~ 17時15分 (土、日、祝日、その他弊社休業日を除く)</p>	<p>バイエル薬品株式会社 コンタクトセンター</p> <p>TEL:0120-106-398</p> <p>受付時間 9時 ~ 17時30分 (土、日、祝日、その他弊社休業日を除く)</p>